

令和7年度 教 育 計 画 四国中央市立妻鳥小学校						学校番号 7	
校長名	中廣 七枝	学級数	16 (3)	児 童 生徒数	338	教職員数	25

経営の基本方針

- (1) 学校、家庭、地域が連携・協働し、児童一人一人が仲間と共に学び合いながら自分や相手の良さを認め合い、命を輝かせる魅力ある学校づくりを推進する。
- (2) 全教職員が『学校の主体は子どもである』ことを認識し、チームワークを大切に、創意を生かして学校の教育目標の具現化に向けて学校運営に参画する。

学校の教育目標



気づき、考え、行動するえひなの子を育てる

育てたい子どもの姿



あったか言葉のキャッチボール
笑顔いっぱい えひなの子！



考える子(知)

- 基礎・基本の確実な定着
・個に応じたきめ細かな指導
・学習習慣、学習規律の確立
- 「分かる・できる・楽しい」
授業の推進
・授業のUD化
・対話的な学びへの授業改善
・ICTの効果的活用
- 読書活動の充実



助け合う子(徳)

- 支え合う仲間づくりの推進
・あったか言葉のキャッチボールの行動化
・なかよし班活動の活性化
・自他の良さを認め合い
- 心を育てる教育の充実
・考え、議論する道徳教育の実践
- 規範意識の醸成



きたえる子(体)

- 主体的・継続的な体力づくり
・ITスタジアムへの参加
・マラソン、縄跳びへの取組
- JRC の精神を基盤にした
清掃・奉仕活動の充実
- 望ましい生活習慣の確立
・あ・は・は・立の徹底
・早寝・早起き・朝ごはん
- 心の健康づくり
・相談活動の充実



一人一人の命が輝く魅力ある学校

「いのち」を
核とした
教育活動の
推進

妻鳥小学校コミュニティ・スクール

～ふるさとに愛着と誇りを持てる児童の育成を目指して～

家庭・地域とともにある学校

めざす教師像
信頼される教師
実践的指導力のある教師
共に学び協働する教師

連携・協働

家庭とともに
基本的な生活習慣の育成
家庭学習習慣の確立
学校行事への積極的な参加

- ・ 目標・ビジョンの共有
- ・ 学校評価を生かしたマネジメントサイクル
- ・ 学校からの情報発信・情報共有
- ・ 教育活動の質の向上
- ・ 業務改善

地域とともに
見守り活動での連携
教育活動への参画
豊かな体験活動の充実

重点目標	1 豊かな心を育む教育の推進・・・・・・・・・・「助け合う子」 ○ 自他の良さを認め合い、相手の気持ちを考え、支え合う仲間づくり ○ あったか言葉のキャッチボールの行動化 ○ 人権尊重の理念を基盤とした人権・同和教育の推進 ○ 豊かな人間性やより良く生きるための基盤となる道徳性の涵養 ○ 気持ち良く学校生活を送るための規範意識の醸成 2 確かな学力を基盤とした生きる力の育成・・・・・・・・・・「考える子」 ○ 基礎・基本の確実な定着（学習習慣・学習規律の確立、家庭学習の習慣化） ○ 「分かる・できる・楽しい」授業の推進（授業のUD化、対話的な学びへの授業改善、ICTの効果的な活用） ○ 読書活動の充実 3 健やかな体を育成する教育の推進・・・・・・・・・・「きたえる子」 ○ 主体的・継続的に取り組む体力づくりの推進（ITスタジアムへの参加、マラソン・縄跳びへの取組、外遊びの奨励） ○ JRCの精神を基盤とした清掃・奉仕活動の充実（黙掃の徹底） ○ 望ましい生活習慣の確立（あ・は・は・立の徹底と早寝・早起き・朝ごはんの奨励） ○ 一人一人に寄り添う相談活動の充実 4 安全・安心な教育環境の整備 ○ いじめ・不登校への全教職員の共通理解及び未然防止と早期発見、迅速で組織的な早期対応の徹底 ○ 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実 ○ 自他の生命を守り、自ら考えて行動する安全教育の推進と教職員一人一人の危機管理意識の高揚 5 教職員の働きがいのある魅力的な職場づくり ○ 「ワーク・エンゲージメント（働きがい）」「教職員・児童・保護者間の信頼関係」の視点での働き方改革の推進 ○ 校務負担軽減につなげるICT活用による業務の効率化 ○ コミュニティ・スクールの活性化（地域人材を活用した学校支援体制の構築）
管理運営	1 人的管理 (1) 健康・安全管理の徹底及び綱紀保持・服務規律の厳守 (2) 高め合う教師集団づくりと研修の充実、協働体制の確立 (3) 危機認識・危機管理能力の育成と「報告・連絡・相談」体制の徹底 (4) 働き方改革の推進とワーク・ライフ・バランスの適正化 2 物的管理 (1) 教育の場にふさわしい豊かな情操を育む機能的な教育環境の整備と充実 (2) 施設・設備等の安全管理と潜在危険除去による事故防止 (3) 非常変災時に備える防災体制の整備 3 事務管理 (1) 校務分掌の明確化・平準化と責任・協力体制による確実な遂行 (2) 個人情報等の適正な管理とICT等の効果的な活用による迅速な事務処理 (3) 共同学校事務室の機能を生かした事務処理の適正化・効率化 (4) 会計・経理事務の厳正な執行と合理化及び確認の徹底
本校教育の特色	本校は、明治7年、前身である「愛雛（えひな）小学校」として創設され、当時より「地域の宝 えひなの子」として、子どもたちを見守り育てようという温かい意識が根付いている。校区は、国道11号線をはさみ南北に細長く、田園風景を残しながらも、商業施設等の進出により環境は年々変化し続けている。地域は、かねてより教育活動に協力的である。変化の激しい社会をたくましく羽ばたく「えひなの子」の育成のために、学校・家庭・地域の連携・協力を強化し、「いのち」を核とした教育活動を推進する。